



いきいき久間っ子の育成
くま：工夫して学ぶ子
つ：強くてたくましい子
こ：心やさしい子

学校だより

ガンバルンギヤーズ



NO. 20

令和4年12月13日
嬉野市立久間小学校
文責 校長 坂本和子

内田勝也さんを講師に、2回目の人権集会をしました(11月18日)

今年もボランティア委員会の進行で人権集会を行いました。まず初めに、西山美恵先生から「人権とは」というお話がありました。そして、各学級からの「なかよし合言葉」の発表がありました。

【1年1組】 みんなが えがおになるように やさしいふわふわことばを つかおう

【2年1組】 みんなで声かけあって 思いやり たすけ合っつて ルールをまもる 2年1組

【3年1組】 みんなが楽しくなるように 一人ひとりを大切に 助け合おう

【4年1組】 みんなが かがやき 思いやり 笑顔あふれる 4の1

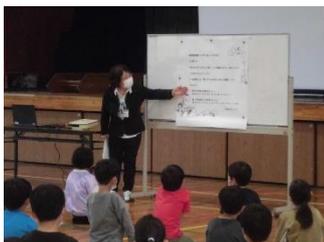
【5年1組】 だれにでもやさしい言葉を使って 仲良く協力して 過ごす

【6年1組】 一人一人の違いを生かしてアウトプットすることでみんなを知り6の1を大好きなクラスにします



みんなが願う理想の学級の姿、友達との関わり、言葉の大切さについて考えていることが伝わってきますね。

次に、「〇〇な障がい者の会」会長の内田勝也さんに「みんなが笑顔でくらすために」という演題



で講演をしていただきました。電動車いすを自由自在に操って、ユーモアたっぷりに話され、楽しく心が温くなるような時間でした。「障害をもっていても、たった一度の人生だから、思う存分楽しみたい。」と、とても前向きにいろんなことに挑戦されています。その中で、私たちでは気づかない、車いすでは困る

ことを3つの「さ」（高さ・狭さ、段差）で教えてくださいました。

また、みんなにとっても「認め合い」「助け合い」「支え合い」という3つの「あい」が必要であることも教えてもらいました。

今は佐賀市役所で得意なパソコンを使って仕事をされていますが、一人でやることと人に助けをもらうことを考えながら、どんどん世界を広げ、豊かに生きていられる姿に私たちが勇気をいただき、子ども達も夢中でお話を聞いていました。

この集会の様子を本校のいじめ防止対策委員の中島恵美子さんと人権擁護委員の森照子さんも見に来てくださいました。

会が終わった後、上級生が内田さんのもとに集まり、笑顔で挨拶している姿が、内田さんの人柄とお話のすばらしさを物語っているなあ、と感じたところです。

ともすればしたくないことや苦手なことは理由をつけて逃げたくなる、避けたくなる弱さが誰にでもあると思いますが、内田さんの生き方に触れ、困難にも負けずにまずはやってみる、ということの大切さを改めて教えていただいた気がします。これから先、子ども達がいろんな困難に出会った時にこの内田さんとの出会いを思い出してくれることを願っています。

<感想>

- きょう いいおはなしをききました。それは、人はひとりひとりちがうけど それでいいんだとわかりました。そして、あかるいところで すすんでいけばいいと わかりました。これからは「なにかお手つだいすることはありますか。」をいいたいです。(1年山口絢翔さん)
- わたしは、内田かつやさんの話を聞いて、150 回もこっせつしたと聞いてびっくりしました。バス、電車、ひ行きに、車いすでのってすごかったです。わたしも「なにかお手つだいすることはありますか。」とこまっている人にたずねたいです。こまっている人に3つ「あい」をつかいたいです。内田かつやさんみたいにチャレンジをしたいです。内田さんみたいに人生を楽しみたいくさんの思い出を作りたいです。(2年江湖莉実さん)
- 11月18日に人権集会があって、内田かつやさんという人がびょうきで体が思うように動かないけど、とっても元気でやさしい人でした。わたしは話を聞いて、大切なことを教えてもらいました。一人ひとりちがうのはあたり前です。これから自分のこせいをいかしてがんばろうと思いました。(3年野村優月さん)
- わたしは、人けん集会で内田勝也さんというほねの病気の方に会い、はっぴょうを聞きました。はじめ勝也さんを見たときは、少しおどろきました。でも、話を聞いているうちに、私たちと何もかわらない人だな、と思いました。勝也さんは、今までに150回以上こっ折をし、20回以上の手術をしてこられたそうです。だけど、自分がチャレンジしたいと思ったら、できないかもしれないと思うのではなく、チャレンジすればいいことを教えてくださいました。なので、私もしょうがいのある人などがこまっていたら、「なにかお手つだいできることはありますか。」と言って、助けたいと思いました。(4年中村凛々子さん)
- 最初に各学年のめあてを聞いて、やっぱり言葉づかいは大切だな、と思いました。理由はイヤな言葉は心がきずつくと思ったからです。内田勝也さんの話を聞いて、私は自分では分からないようなこまったことがたくさんあることを知りました。三つの「さ」では、高さ、だんさ、せまさというこまったことがありました。でも、三つの「あい」の「みとめ合い」「助け合い」「ささえ合い」という行動がとても大事だと思いました。その理由は、どんなにこまったことがあってもみとめ合い、助け合い、ささえ合いをすれば解決できると思ったからです。最後にハード、ハートという言葉を知り、ハードは目に見えるお手つだい、ハートは困っている人を助けることだと分かりました。私は人権集会を通してこまっている人を見つけたら、がんばって「何かお手つだいすることはありますか。」と声をかけようと思いました。(5年大石瑚子さん)
- 私は人権集会でどんなに体が不自由な人でも、私たちと全く同じなんだな、と思いました。なぜなら、内田さんは私達とすこし体型がちがうけれどいろんなことに興味をもってチャレンジしているからです。いろんな人のやさしさがあって私達がくらせているんだなと思いました。人の助けをかりることはとても大切なことなんだなと思いました。私はもし体の不自由な人が困っていたら、内田さんから教えてもらったように「お手つだいしましょうか。」と声をかけて助けたいなと思いました。(6年光武莉奈さん)

全校の子ども達の感想を読みましたが、どの子も内田さんの話をしっかり聞いて、自分のことを考えることができていました。

3年生ポッチャ体験 (10月31日)



SAGA2024 国スポ・全障スポでは、嬉野市でも7競技があるということで、県の企画広報チームと嬉野市からポッチャを教えに来ていただきました。あと2年後のことです。

初めてのポッチャ体験でしたが、シンプルながらもなかなかおもしろい競技です。投げ方は自由ですが、最初のジャックボールがポイントのようで、だんだん投げる方向や相手の球を予想して作戦を立てて、ポッチャの面白さにはまって、盛り上がりました。最後はまるでカーリングのようにコンパスで距離を測り、どちらが勝ちかをみんなで確認していました。

スポーツの楽しさや力を感じた時間でした。